取組内容

地域を巻き込みながら

実施隊が中心となり

平成28年度

編集・発行者

山村 tel:0595-63-1725 Email

準

名張鳥獣害問題連絡会活動

は至りませんでした。 回は残念ながら表彰に 三重県伊賀農林事務所 昌樹氏

更なる充実を図りたい と考えています。 及センター に、これを機に当会の 三重県中央農業改良普 評価に感謝すると共 佐藤 恒亮氏

会

【知事表彰】

田口区 (菰野町)

実施隊 ループ 伊勢市旭・ 南伊勢町鳥獣害対策

紀宝町浅里地区農事

取組内容

のほか、関係者と連携獣種防護柵の維持管理

活動を展開しています。

~みんなが被害軽減を実感できる対策をめざして~

知事表彰】

南伊勢町鳥獣被害対

「フォーラム資料冊子」

した捕獲等の効果的な

ルの追い払い活動や多

害対策に取り組み、

サ

地区の問題として

優良活動表彰」に推薦 されました。だが、今 獣害につよい集落等 題連絡会活動を、 私たち、名張鳥獣害 獣害対策を進め、 取組を拡大させていま た団体を紹介します。 主体の被害防止活動の この二団体です。 松阪市嬉野町森本町 いなべ市川原集落 菰野町田口区 他にノミネートされ 知事表彰は 地 域

白川集落 田・前山獣害対策グ 藤里 • 勢

名張鳥獣害問題連絡

塾」以上、7団体。法人「飛雪の滝百 等の有志の組繊で、 紹介されています。 張鳥獣害問題連絡会の 活動状況を次のように 主な取り組み フォーラムでは、

区センター では掲示に 約1万人の市民に回覧 00部/月の発行で、 他の9地区の地

へ提供している。 報誌「猿新聞」を地域 危機感をもった、住民 当該団体は、獣害に 猿新聞は、現在12 情

され、 市内15地域中6地域、 よる情報提供を行ない

jyun.y@asint.jp 名 姓 かけを行ってい 多岐に渡っている。 への関心を高める働き 策を伝え、 策の重要性や有効な対 民間の立場から獣害対 をテーマに取り上げ、 シカやイノシシ、アラ 起、さらには、 ている有効な対策の紹 位置情報や集落ごとの 動を実施している。 イクマなどの獣害全般 いる問題の解決案の提 介や、現場で発生して 方法、現場で実施され 期に応じた有効な防除 価値をなくすために時 供する情報は、サルの 出没回数、 サルだけではなく、 研修会の開催など、 市民の獣害 集落の餌場 地域で るූ

名張鳥獣害問題 連絡会

表彰には至りませんで 今回は残念ながら知事 取組につきましては、 たが、 関心を高める取組と 住民の獣害へ

日時: 平成28年11月12日(土)9:00~16:30 場所:津市芸濃総合文化センター 主催:三重県 共催:津市 後援:三重県市長会・三重県町村会 協力:(一社)三重県猟友会、津市広域獣害対策連絡協議会 こういった 信しており、 な対策を広 情報や有効 よって獣害 く市民に発

よる 変 活 民間団体に 動 貴 広 重 は 報 す。

市内全域に渡り広報活 県内に周知するため、 県は、その取組を広く 報告いたします。 くりフォー ラム~ みん 去る11月12日に開催 ただきましたことをご において紹介させてい なが被害軽減を実感で ました、平成28年度 きる対策をめざして~」 獣害につよい三重づ

前文省略)貴団体の

の開催等に 刊や研修会 の発 す。今後も引き続き、 活動に放り組んでいた 民間の視点からの広 はないかと考えていま 尽力を賜りますことお だき、獣害の減少にご

新聞」 して、

で創刊10周年を迎えま 猿新聞は、 試行錯誤の10 本年4月 年。

引き続き駆除に取り組

傾向にあることから、

んでまいります。

ミネラル源になります。

防除対策をする必要が

あると評価されました。 願 い

のきっかけとなるので 取組を始めたいと考え モチベーションの向上 れている地域の方々の 深刻な状況にあります。 害が「ある」と回答す ンケート調査では、被 表者に実施しているア る農林水産業被害金額 ている地域の活動開始 と、県内で獣害に悩ま 体の取組が、「 こういっ る集落は減少傾向にな のの、県内の全集落代 クに減少傾向にあるも は、平成23年度をピー た取組を参考にしよつ!」 県内の野生鳥獣によ そのような中、貴団 または、これから 依然として獣害は

三重県農林水産部 獣害対策課長 おります。

りました。そこで、 る群れが2つ存在して 名張市内を遊動域とす の対策が急務となっ が深刻化しており、 生物の増加に伴う被害 被害及びアライグマ 年名張市・ サルによる被害、シカ・ 人馴れが深刻化してお ヌートリアなど、外来 イノシシの増加に伴う サルにつきましては、 いずれの群れ 宇陀市の 昨 も て そ 関

続していく所存です。 けてまいりました。 地道な活動ですが、 挫折の危機は幾度も

獣害対策 名張市農林資源室

ります。

国的に深刻化してい 被害が発生するなど全 では平野部においても る耕作放棄地の増加等 化や高齢化の進展によ 農山漁村における過疎 獣の生息分布域の拡大、 がとうございます。 獣被害対策にご理解と を中心に広がり、 業等に係る被害は、 こ協力をいただきあ 鳥獣による農林水産 平素は、名張市の 中山間地域等 近年 鳥 ま させないといった対応 をお願いいたします。

名張市においても、 整備しており、末までに約35㎞ まいりたいと考えてお 頭以上にのぼりますが、シシの駆除は毎年、20 推進に向けて努めてま 継続する限り、 いります。シカ・ 事業を活用し、 ります。 防護柵は国の の両輪で対策を進めて 1

今後も精進を重ねて継 は力なり」の思いで続 ありましたが、「 継続 ご指導の程宜しくお

たします。

平成29年度

の方向性 ますが、

皆様におかれましては、 を図ってまいります。 行うことで被害の軽減 や無意識の餌付けを防 今後も追い払いの実施 ぐことで集落を餌場に 被害地域にお住い 情報発信を 群の動 向 の

会にご協力いただいて 備を進めている防護柵 の捕獲による『攻め』 いての対策は、現在整 による『守り』、猟友 シカ・イノシシにつ

季節ごとに加害鳥獣

)、 事業が を 整備の 昨年度 も変わり対策も変わっ てきます。 春季3・ 冬眠していた虫達が

期です。電源オン!。 3月5日、啓蟄 電気柵の再稼働時 5 月

夏季 6・

7

8 月

4

剤の管理・保管は完全 に。融雪剤は野生獣の 慮が必要です。 菜の種まきが始まりま 害にも注意が必要。 活動する季節です。 3月にはいると春野 使用済みの凍結防止 鳥害には十分な配 虫 た被害形態ですので、 もアライグマとよく似 加害獣を特定して駆除・ タヌキ、ハクビシン

いただき、 せております。 係者の皆様のご協力 し、群の頭数を半減

の声もいただいてお る被害が減少した」と 皆様から「サル群によ よる個体数調整を実施 今後もラジオ 大量捕獲に テレメ 地域の IJ さ

> いる可能性が指摘され が原因の一つとなって 止剤(塩化ナトリウム)

春先からは、シカ、

!路にまかれた凍結防

シカの急増は、冬季、

査によ る行動 リーに ょ **|** 調 IJ 者への捕獲檻の貸出や、 注力してまいります。 環境対策室との連携に 法律』に基づき、被害 る被害の防止に関する 物による生態系等に係 多くの個体を駆除して 付近でも駆除を行い、 対策は、『特定外来生 宇陀市と協力して県境 いることから、今後も 外来生物についての

より駆除を進めてまい です。 に掘られる被害が多発 のジャガイモを、サル てが被害を起こす季節 ています。 メ、ハトなど、鳥獣全 イノシシ、サル、スズ

この時期、植えたて

くお願いいたします。 や地区レベルで対策し ましても、地域にお住 理解とご協力をよろし いますので、今後もご ていただく必要がござ いの皆様が個人レベル いずれの対策におき 害が、毎年発生します。 力による移植直後の食 で対処しましょう。 防護ネットや深水管理 まる季節です。 ます。 5月は、田植えの始 中山間地域では、シ

軽減できる」。 水管理を行うと被害が 期間に水深7字の深 移植から中干しまで 水稲深水管理

の を狙って出没します。 種まき時期です。 畑では、大豆、小豆 鳥害に注意が必要。 イノシシがタケノコ

6月は、アライグマ

被害にあいます。 シ、スイカ、イチゴ、 などの動きが活発にな ブドウ、トマトなどが る季節で、トウモロコ

にこれから秋にかけて

きます。

また、一般的

案山子・防鳥テープ・な 防 除 策 と し て、

プ・

爆音機などがあります。

立ちます。 きさや運動能力、など タヌキなどの被害が目 夏野菜の収穫の最盛期 える必要があります。 を考慮して柵構造を考 特にこれから秋にか サル、アライグマ、 8月は、 畑では

の被害を軽減するには、 早めの対策が肝心です。 どの被害が年中で最も けての時期はサツマイ 頑丈な支柱に茎葉を結 防除することです。 わえて幹の引き抜きを 大きくなる時期なので、 サルによる、果菜類 カボチャや水稲な 網で覆うこと カボチャなど 翌年も必ずといってい には野生獣を誘因して い程浸入します。 浸入できた田んぼには 力が高く前年、安全に している無意識の餌付 晩秋から冬場の集落 イノシシは、

学習能

期に集中します。 また、 掘り起こし被害もこの時

多くあり鳥獣による被 策もままならぬ集落も

ことを避けることができな被害に遭うような だけに被害が集中し大で、早植えのほ場一面 付け時期を揃えること 登熟期の防除策とし その地域の植え の草刈をしないで、 えのない餌となります。 は、多くの野生鳥獣に とって、 稲刈りの後は,畦 冬場のかけが

葉などの収穫残さはす 態にしておきましょう。 場には枯草しかない キャベツや白菜の外 柵の出入り

猿の話をしよう

匹の猿が住んでいた。

へんな日照りが続き、

ところがある年、たい

島には500匹分の食料

しかなくなってしまっ

さて、猿たちはどうす

もちろん猿は平等にエ

サを分け合ったりしな

い。まず子どもたちが

死んでいく。 次には

老猿たちが死ぬ。そし

て若く強い猿が500匹

だけ生き残るのだ。ど

うしてそんな残酷なこ

とになるのかというと、

それは次の年のようす

を見てみればわかる。

翌年、島は昔のように

豊かな食料に恵まれ、

若く強い猿たちは次々

と子を産み、島はまた たくまに元の1000匹の

猿の島にもどったのだ。

もうわかったね。子ど

もの猿も歳老いた猿も、

て

るのだろう?

た。

ある小さな島に1000

の大 最も効果的な方法の一 侵入防止柵の設置は、

えることが大事です。 も高いという点を踏ま 外にも機敏で身体能力 で、特にイノシシは意 て設置することが基本 置がコスト的にも優位。 応できる多目的柵の設 の生態と習性をよく知っ 大事なのは、加害獣 全ての加害獣に対 設置に際して ない季節です。だが サルが狙います。 保存 保存してある農作物を で農作物被害が最も少 物が少ないなので1年中 には十分な配慮が必要

です。 力的な餌になります。 の野生鳥獣にとっては魅 ない柑橘類なども、冬場 イノシシによる土手の 管理されてい

弊しています。 高齢化

過疎化の進行している

で獣害対策を考えると

そこで、

集落ぐるみ

集落においては獣害対

餌を与えることは自然 個体数が増加する要因 理もこの時期の大事な 防護柵の補修・点検・管 獣害対策上極めて重 な行為をなくすことが、 にもなります。 死する個体を減らし、 仕事です。この時期に 冬場に 増えてきています。 がかかるという集落が ますます過疎化に拍車 害に歯止めがかからず、

集落ぐるみで獣害対

集落ぐるみ獣害対策

件の不利性から中山 のようにおもえます。 は単なる「絵空ごと」 獣害に加えて農業条 間

と積極的に前面に立っ ある行政の関係者がもつ

でいったのだ。 覚えておくがいい。 それが人間のやり方だ。

一部、添削。

地内に侵入するシー

いよいよ住字

傾向が見られます。

口の開放厳禁。

被害多

発地区では電気柵の

通

電をオフにしな

農業の中で重要な地位 割程度の面積を占め、 の骨格で、 総人口の約4%が居住 間地域は、 全国 我が国の 1士の7 国土

冬場

ő

ほ場は農作

1

2 月

現状を見るとき、 集落といわれるほど疲 間集落は、いま、 化率は30%超え、 地域の 限界 中山 危ぶまれます。 という負の連鎖。

いま、中山

にとっても地域の生活 負担の軽減が、非農家 ば農家にとっては労力 農家の協力も得られれ 農家だけでなく非

> 専門的知識や技術の研 金を使うのではなく、

に

害 垣 向

コミュニティが向上す るなどの効果が期待で

家と顔が見える関係に れる重要なことは、 農

期待してい 促進に、中山間地域 おもいますが、各地域 で対応に苦慮されると 門的な知識をもった人 と力を注ぐべきです。 するための援助にもっ の実情に応じた対策の 修の機会を増やし 晋及体制を確立したり 多くの市町村では専 あるいは資金の面 たり、

・上三谷が移動ルー

て遊動

して

に В が

と西谷蕨・伊賀寺 中間 はいたり

賀同竜様

群は、

みられます。

畑山いいいトロ

9で中々出てこな4す。頭数が少な

姓やめた!」 集落では「来年から百 棄地の拡大につながり、 ムードが漂っています。 諦めムー ドが耕作放 と諦め

域の諦めムー ドの蔓延 それが更なる獣害拡 は、日本農業の未来が %といわれる中山間 「積 の 73 地

も必要ですが、フェン スなどの設備にだけお な予算を投入すること 村が果たすべき役割に、 た対策の支援など市町 いま期待が高まってい 被害対策に十分 (奈垣・弁天橋付近)ます。また、一定区域内まで侵入してきてい

IJ

各地域の実情に応じ では周辺ではなく住宅になって、つつじが丘

推進の両立が不可欠で 地域住民の被害対策の せるためには、 意識不足など限度 住民主体では高齢

被害を確実に減少さ サルの出没状況

等 周 比い餌月 様は

の動向

ハターンではと思って遅って、5年以上前の9。 最近のパターンといる柿の木もありま 名張鳥獣害 問題連絡会

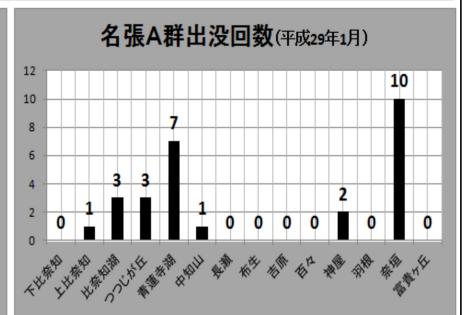
パター プター て

発行部数 錦生地区:100部 赤目地区:200部 箕輪地区: 70部 ひなち・富貴ヶ丘

: 150部 つつじが丘:430部 市民センター: 120部

(12地区) 名張市議会:20部 名張市役所:20部

いて、今鈴なりで残っては柿の食害が減って要注意です。また、今日ました。これからはっていた。これからはいに入りました。先日 知等に出没していま 3に餌が少なくなり ;状況ですが最近は 垣では、大根等に被向が見られます。奈に数日間滞在する傾 名張B群出没回数(平成29年1月) 3



て被害対策に関 くことです。

わっ

て

指導員報告

コシ、スイカ、イチゴ、 秋季9・ 収穫直前のトウモロ 9月は、 10 11 月

が近づき登熟期の稲に を行い「ひこばえ」を 取り組みましょう。 けが沢山あります。 冬場の餌付け防止 稲刈り後は、秋耕耘

ましょう。「ひこばえ」 発生させないようにし となります。

ムズメが集まります。

次の年に子をたくさ ん産むなんてことは できない。猿たちは早 く元の1000匹をとりも

どしたいだけなんだ。

そのためには、今いる 子ザルや老猿が死ぬな んてことはなんでもな いことだ。

さて、1000人乗りの 大型客船があって、今 まさに沈没しようとし ている。ところがその 客船には、なんと500 人分のボートしかなかっ た。乗りあわせた乗客 たちはどうしたと思う? 人々は、まず子どもと 女性をボートに乗せ、 次に年老いた男が乗る。 若い男たちには乗るボー トもなく、そして死ん

「Biglobe-サルの話 をしよう」より引用。